

人間と生活・社会の理解【社 会 学】

担当教員	和 泉 浩	所 属	秋田大学教育文化学部
対象学年/開講時期	第1学年/前期	単位数(時間数)	1単位(30時間)
履修の目的			
①現代社会の特質と諸問題を理解することで社会的存在としての人間をとらえる知識を学ぶ。 ②社会学の基礎を学び、医療や健康と社会、生活との関係とともに、社会事象を把握する上での社会学の見方を学ぶ。			
授業の形式			
主として講義形式で行います。資料も配付しますが、黒板に書いて説明していきます。			
成績評価の基準等			
成績は出席および最後の試験(1回)で評価します。			

【教科書・参考図書】

教科書は使用しません。授業の内容に関連するものをその都度、授業の中で指示します。
--

【授業計画】

授業回数	履修主題	履修内容	教科書	担当教員
第1回	授業についての説明 社会学とはどのような学問か	授業の進め方、成績の評価 社会科学と社会学		和 泉
第2回	社会学誕生の背景	啓蒙主義と科学、国民国家		和 泉
第3回	社会学の特徴と方法	理論と実証、社会調査		和 泉
第4回	統計の考え方 調査倫理とインフォームド・コンセント	母集団、検定、推定、 多変量解析など		和 泉
第5回	社会学と医療 健康、主観的健康と客観的健康	医療社会学について 生物心理社会モデル		和 泉
第6回	健康、病気と社会	20 世紀後半以降の医療と 社会の変化、QOL、ケア		和 泉
第7回	格差社会の問題:健康格差 教育格差、地域間格差 防災・減災とソーシャルキャピタル	階層と健康の結びつき ソーシャルキャピタル(社会関係資本)、レジリエンス		和 泉
第8回	生命倫理と社会①	インフォームド・コンセント		和 泉
第9回	生命倫理と社会②	消費者保護と医療		和 泉
第10回	生命倫理と社会③	リベラリズムとリバタリアリズム		和 泉
第11回	エンハンスメントをめぐる問題	エンハンスメントと医療		和 泉
第12回	エミール・デュルケムの社会学	デュルケムの『自殺論』		和 泉
第13回	マックス・ウェーバーの社会学	ウェーバー『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』		和 泉
第14回	機能主義	パーソンズの「病人役割」		和 泉
第15回	機能主義以降	フーコーの権力論など		和 泉
修 了 試 験				

学生へのメッセージ

板書が多く、少し難しい内容もあるかもしれませんが、できるだけわかりやすく説明するようにします。
